

新年のごあいさつ

秩父市長 久喜 邦康

新年明けましておめでとうございませう。市民の皆さんにおかれましては、新春を穏やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、市民の皆さんを守り抜く安全・安心のよりどころとなる新市役所本庁舎、そして芸術文化活動の殿堂としての新秩父宮記念市民会館がいよいよその姿を現してきました。内装は、秩父の木をふんだんに使った温かみのある明るく優しい造りとなっています。来月には、全ての工事が完成して引き渡しとなり、市議会3月定例会、事務所の引っ越しなどを滞りなく行い、完成記念式典を3月26日に開催したいと考えています。

私は、市長就任以来、現場主義を前提に、困難な課題を乗り越える「勇気」と、与えられた業務を確実に最後までやり遂げる「責任」を市職員に求めるとともに、まちづくりの主役は市民の皆さんであることを常に念頭に置いています。今年、土台を築いてきた、久喜市政2期目の集大成の年でもあり、今まで築いてきた基盤となる政策の運営・活用に向けて、秩父市がさらに飛躍できるよう取り組んでいく必要性を強く感じています。そこで、第2次秩父市総合振興計画に基づき、「豊かなまち、環境文化都市ちちぶ」を将来都市像に、「日本一しあわせなまち」を創り上げていくため、さまざまな取り組みを継続して行っています。

具体的には、人口増加に向け、地元企業のご協力をいただきながら、「秩父に住んで働こう！」を合言葉に若者の定住を促進します。農福連携(農業と福祉の連携)による農地の有効利用や計画的・効率的な森林施業の推進、訪日外国人旅行者の誘客、アニメの聖地巡礼、ジオツーリズムや教育体験旅行など、秩父ならではの観光交流を大きく飛躍させたいと思っています。また、皆さんが安心して住み続けられるよう地域包括ケアシステムを推進し、「地域完結型福祉」を実現します。産科医療につきましても、受け入れ体制の充実により、里帰り出産の受け入れもできるようになってきており、引き続き支援をまいります。また、元気で活動的な中高年齢者や若者たちが生涯活躍できるまち「秩父版CCRC(※)」も実現に向け、引き続き努力してまいります。さらに、将来の秩父市を担う子どもたちの基礎学力の向上は喫緊の課題です。ICT(情報通信技術)を活用した教育機器の導入などを行い、英語で秩父をガイドできるような語学力を身に付けさせるなど、教育にも積極的に力を入れてまいります。スポーツ振興においても、「スポーツによるまちおこし」をキーワードとした健康推進の施策を行ってまいります。

どうぞ、本年も市政に対する変わらぬご理解、ご協力を賜りますとともに、市民の皆さんにとつて輝かしい年となりますことを心からお祈りいたしまして、年頭に当たつてのごあいさつといたします。

※秩父版CCRCとは？

中高年齢者をはじめ、多様な世代が、地域社会に溶け込みながら健康でアクティブな生活を送ることができるといいます。詳しくはHPページをご覧ください。